

正誤表	司法書士 スタンダード合格テキスト 10 刑法 第 6 版
-----	-------------------------------

本書において下記の通り誤りがございました。

内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

早稲田経営出版

ページ	誤	正	更新日
128	上から 11 行目 (②㉞ 2 行目) された者であり、かつ保護観察に付されて いないこと	された者である。 <u>初度の執行猶予が保護観察付きであつても、再度の執行猶予ができる。ただし、再度の執行猶予期間中の再犯に対しては、さらに再度（3 度目）の執行猶予を付すことはできない。</u>	25/12/23
129	下から 10～4 行目 (① 必要的取消し) ㉞ 〈中略〉その刑につき執行猶予の言渡しがないとき。 ④ 〈中略〉その刑について執行猶予の言渡しがないとき。 ㉞ 〈中略〉処せられ（刑の全部の執行猶予）、またはその刑の全部について執行猶予の言渡しがないこと（刑の一部の執行猶予）が発覚したとき。	㉞ 〈中略〉その刑の <u>全部または一部について執行猶予の言渡しがないとき。</u> ④ 〈中略〉その刑の <u>全部または一部について執行猶予の言渡しがないとき。</u> ㉞ 〈中略〉処せられたことが発覚したとき（刑の全部の執行猶予の <u>取消し</u> ）、または <u>猶予の言渡し前に他の罪について拘禁刑以上の刑に処せられ、その刑の全部について執行猶予の言渡しがないこと（刑の一部の執行猶予の取消し）</u> が発覚したとき。	25/12/23
130	上から 1 行目および 4 行目 (※ 2 か所) (刑の全部の執行猶予)	(刑の全部の執行猶予の <u>取消し</u>)	25/12/23
131	表 時効停止 (刑 § 33) の欄 4～5 行目 時効は進行しない。	時効は進行しない。 <u>ただし、拘留・科料は執行停止期間内。</u>	25/12/23

以上